

# 平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名		福祉保健部 福祉総務課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	03	民生費
	項	01	社会福祉費
	目	01	社会福祉総務費

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち  
 政策目標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに  
 重点的取組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

事業名	<b>地域福祉計画推進事業</b>	事業開始年度	平成 21 年度
	「第2期廿日市市地域福祉計画」の策定	根拠法令 条例 個別計画等	地域福祉計画 廿日市市地域福祉計画推進委員 会設置要綱

### 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民	高齢者や障がいのある人など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、多様な主体が持つ資源をつなぎ活かしながら地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいる。

### 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	計画の見直し(プロセス形成、事務局)、進行管理体制の構築	地域福祉計画推進委員会、社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、委託事業者など	計画策定(見直し)への参画、策定後における進捗把握、実践に向けたリーダーシップの発揮、計画策定支援、推進支援

### 3 平成 27 年度 決算(事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

実施した事業の内容(活動実績)	《事業の概要》 「第2期地域福祉計画」(計画期間：平成28年度～平成32年度)を策定した。 計画策定に当たっては、プロセスと策定後の実践に重点を置き、地域福祉計画推進委員会や策定班会議を開催、地域福祉に係る議論から必要なエッセンスを抽出して盛り込んだ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉計画策定委員会の開催(5回開催) 多様な主体の実践者を委員として選考し、議論した。</li> <li>●地域福祉計画策定班会議(6回開催) 庁内の福祉保健部内各課、他部局の関係各課、市社協職員に参加を呼びかけ、議論した。</li> <li>●多様な主体との対話の機会 キックオフミーティング(4月)、中間報告会(10月)を開催した。 各種団体等に対するヒアリング調査、パブリックコメントを実施した。</li> </ul> 《予算内訳》 【歳出】 地域福祉計画推進委員会 報償費 315,000 円 地域福祉計画推進委員会 費用弁償 17,200 円 第2期地域福祉計画策定支援業務委託料 3,650,076 円							
	コスト情報(円)	項目		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越	
財源内訳		直接事業費 A			3,982,276			
		国庫支出金						
		県支出金						
		借入金(市債)						
		その他(使用料など)						
		市(市税など)			3,982,276			
	人件費(按分) B	人	1.00 人	8,649,000				
	総事業費(A+B)			12,631,276				
単位換算	①	人口(4月1日現在)	117,182 人	117,128 人				
		市民1人当たり	27	108				
到達目標	活動成果	活動	推進委員会の開催回数	回	1	4	5	
		成果	第2期地域福祉計画の策定	%			100	100